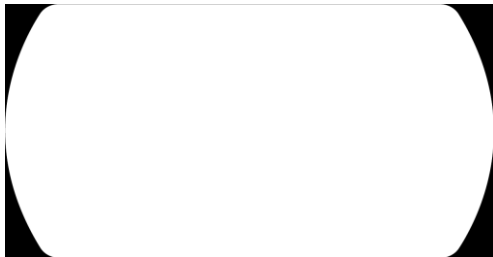


本ガイドラインは、MJIロボットTapiaのアプリケーション開発のためのものである。開発者はアプリケーション公開時に本ガイドラインに記載されている申請事項を準備し、以下に掲載する項目に準拠しているか確認するものとする。

項目		申請事項	備考	確認
<b>1. 開発環境</b>				
1.1	Tapia			
1.1.1	アプリケーションを開発するにはTapia実機を用いること。	実機開発の確認		<input type="checkbox"/>
1.2	TOS			
1.2.1	開発はTOS(TAPIA Online SDK)の最新版を用いること。	TOSのバージョン		<input type="checkbox"/>
1.2.2	TOSと対応するAndroid Studioを利用すること。			<input type="checkbox"/>
1.2.3	gradleの設定には以下の情報を含めること。 Username: TAPIA SDK ログイン ID password: TAPIA SDK ログインPW			<input type="checkbox"/>
<b>2. アプリ一般</b>				
2.1	Googleガイドライン			
2.1.1	パーミッションに関する規定 FN-P1, FN-P2 を参照して適宜実施すること。		Goolgeアプリの中核品質 テスト手順 CR-11	<input type="checkbox"/>
2.1.2	オーディオに関する規定 FN-A1, FN-A2, FN-A3, FN-A4 を参照して適宜実施すること。		Goolgeアプリの中核品質 テスト手順 CR-7, CR-8, CR-1, CR-2	<input type="checkbox"/>
2.1.3	UIとグラフィックに関する規定 FN-U3 を参照して適宜実施すること。		Goolgeアプリの中核品質 テスト手順 CR-5	<input type="checkbox"/>
2.1.4	ユーザーまたはアプリの状態に関する規定 FN-S1, FN-S2 を参照して適宜実施すること。		Goolgeアプリの中核品質 テスト手順 CR-6	<input type="checkbox"/>
2.1.5	安定性に関する規定 FN-S1 を参照して適宜実施すること。		Goolgeアプリの中核品質 テスト手順 CR-6	<input type="checkbox"/>
2.1.6	パフォーマンスに関する規定 PS-P1, PS-P2 を参照して適宜実施すること。		Goolgeアプリの中核品質 テスト手順 CR-all, SD-1	<input type="checkbox"/>
2.1.7	メディアに関する規定 PS-M1 を参照して適宜実施すること。		Goolgeアプリの中核品質 テスト手順 CR-all, SD-1, HA-1	<input type="checkbox"/>
2.1.8	視覚品質に関する規定 PS-V1, PS-V2 を参照して適宜実施すること。		Goolgeアプリの中核品質 テスト手順 CR-all	<input type="checkbox"/>
2.2	Android Manifest			
2.2.1	Android API Levelは最新(推奨)とすること。(Android 5.1) android:minSdkVersion="21" android:targetSdkVersion="最新(推奨)"			<input type="checkbox"/>
2.2.2	<application/>要素の中に以下のTOSライセンスデータを埋め込むこと。 <meta-data android:name="license_key" android:value="" />			<input type="checkbox"/>
2.3	起動方法			
2.3.1	アプリケーションの起動方法はアプリケーションとして適切に起動できる方法とすること。			<input type="checkbox"/>

	項目	申請事項	備考	確認
2.4	終了方法			
2.4.1	終了方法は適切に設定すること。			<input type="checkbox"/>
2.5	言語			
2.5.1	必要な言語を適切に使用すること。	対応言語リスト		<input type="checkbox"/>
2.6	ファイルサイズ			
2.6.1	ローカルストレージ利用時は、適切なサイズを使用すること。	利用の有無		<input type="checkbox"/>
2.7	OSS			
2.7.1	利用しているOSSのソフトウェア名およびライセンス条項に違反していないことを確認すること。	OSS名、バージョン、ライセンス種別		<input type="checkbox"/>
<b>3. セキュリティ</b>				
3.1	アプリの脆弱性			
3.1.1	他アプリケーションおよびシステムの設定の変更を原則として行わないこと。変更の必要がある場合適切に実施すること。			<input type="checkbox"/>
3.1.2	利用するライブラリは原則として公開されている時点の安定バージョンを用いること。他バージョンを利用する必要がある場合は適切に利用すること。	利用ライブラリの名称・バージョン		<input type="checkbox"/>
3.1.3	利用するライブラリの脆弱性情報を確認すること。	脆弱性情報		<input type="checkbox"/>
3.1.4	ログには原則として個人情報等の機密情報を出力しないこと。			<input type="checkbox"/>
3.1.5	認証情報は暗号化を行い保存すること。	暗号化アルゴリズム、保存箇所		<input type="checkbox"/>
3.1.6	個人を特定できるユーザデータは、原則として保存しないこと。			<input type="checkbox"/>
3.2	外部通信(ネットワーク利用)			
3.2.1	外部通信を行う際は暗号プロトコルを用い開示すること。	プロトコル名		<input type="checkbox"/>
3.2.2	外部通信は必要最小限に抑えること。			<input type="checkbox"/>
3.2.3	アプリケーションの目的に反したユーザーの情報を取得し外部に送信しないこと。			<input type="checkbox"/>
<b>4. データ通信</b>				
4.1	移動体通信ネットワーク			
4.1.1	移動体通信ネットワークを利用する際はユーザーに使用する旨の警告を行うこと。		移動体通信ネットワークを使用する場合、使用時または切り替え時に適切な警告を表示させること	<input type="checkbox"/>
4.2	通信不良			
4.2.1	通信不通時は適切なフォールバック(タイムアウト等)実装を行うこと。通信経路の状態(移動体通信およびWi-Fi)だけではなく、通信断絶時の障害も考慮すること。	通信タイミング	アプリケーションが不正終了することなく、正常に動作する事	<input type="checkbox"/>
4.2.2	機内モードで正常に動作すること。		アプリケーションが不正終了することなく、正常に動作する事	<input type="checkbox"/>
4.2.3	移動体通信環境で正常に動作すること。		アプリケーションが不正終了することなく、正常に動作する事	<input type="checkbox"/>

	項目	申請事項	備考	確認
4.2.4	移動体通信環境で、電波状態が著しく悪く通信が実質的にできない環境下で動作すること。		アプリケーションが不正終了することなく、正常に動作する事	<input type="checkbox"/>
4.2.5	Wi-Fi環境下で正常に動作すること。		アプリケーションが不正終了することなく、正常に動作する事	<input type="checkbox"/>
4.2.6	Wi-Fi環境下で、外部通信ができない状態で正常に動作することを確認すると。		アプリケーションが不正終了することなく、正常に動作する事	<input type="checkbox"/>
4.2.7	移動体通信およびWi-Fiいずれも利用できない環境下で正常に動作すること。		アプリケーションが不正終了することなく、正常に動作する事	<input type="checkbox"/>
<b>4.3 音声認識</b>				
4.3.1	音声認識機能は契約条件を満たすものとする。 開発時:1分間に連続20回、1日500回までとする。(リリース時はこの限りではない)		音声認識機能利用時は、ソース内に終話処理を入れること。認識機能の契約条件は状況により変更する場合あり	<input type="checkbox"/>
<b>4.4 その他禁止事項</b>				
4.4.1	スパムパケットを送受信しないこと。 (弊社システムおよび連携システムを含む)			<input type="checkbox"/>
<b>5. ハードウェア制御</b>				
<b>5.1 ディスプレイ</b>				
5.1.1	表示可能領域のうち筐体背面に隠れ実際には表示されない部分があるため以下の範囲とすること(また、タピアの回転を考慮すること)。			<input type="checkbox"/>
				
5.1.2	画面サイズは、適切に設定すること。			<input type="checkbox"/>

	項目	申請事項	備考	確認
5.2	カメラ			
5.2.1	カメラを使用する場合は取得している画像を原則としてTapiaのディスプレイに表示すること(表示領域 100px x 75px以上とする)。画像表示を行わない場合は、顔表示背景をオレンジ(#FF6F05,M60/Y91)に変更すること。それ以外の利用が必要な場合、適切な利用をすること	カメラ利用の有無、タイミング		<input type="checkbox"/>
5.2.2	録画を行う際はカメラの使用の場合に加えて、利用ユーザを考慮した適切な利用をすること。	録画タイミング		<input type="checkbox"/>
5.3	マイク			
5.3.1	マイクを利用している場合は、利用ユーザを考慮した適切な利用を行うこと。	マイク利用の有無、タイミング		<input type="checkbox"/>
5.3.2	録音を行う際はマイクの使用の場合に加えて、利用ユーザを考慮した適切な利用を行うこと。	録音タイミング		<input type="checkbox"/>
5.4	音量			
5.4.1	音量のコントロールを行う場合は、適切に実施すること。			<input type="checkbox"/>
5.4.2	アプリケーション全体の音量コントロールをする場合も適切に実施すること。			<input type="checkbox"/>
5.5	モーター			
5.5.1	モーターに過度に負荷がかかる処理を実装しないこと。			<input type="checkbox"/>
5.6	バッテリー			
5.6.1	バッテリーが過度に消耗する処理を実装しないこと。			<input type="checkbox"/>
5.7	Bluetooth			
5.7.1	Bluetoothを利用する場合は、利用ユーザを考慮した適切な使用をすること	Bluetooth利用の有無		<input type="checkbox"/>
5.8	位置情報(GPS)			
5.8.1	位置情報を利用する場合は利用ユーザーを考慮した適切な利用をすること	位置情報利用の有無、タイミング		<input type="checkbox"/>
<b>6. UX</b>				
6.1	Tapiaの表情(モードに応じた)			
6.1.1	表情のコントロールはSDKから操作できるアニメーションを用いること。 例: Plain, Excited, Smiling, Blinking, Confused/Have, No Idea, Exhausted, Love, Warning/Alarm, Looking to Right or Left, Looking Up, Looking Down, Crying/Disappointed, Funny			<input type="checkbox"/>

	項目	申請事項	備考	確認
6.1.2	但し、止むを得ない場合は独自表情を用いることができるが、組み込み済みの表情デザインに沿った表現とすること。	独自表情のデザイン		<input type="checkbox"/>
6.1.3	表情の表示はコンテンツの文脈にふさわしいものを選択すること。			<input type="checkbox"/>
6.2	操作			
6.2.1	画面に表示するUIパーツは、適切なサイズを使用すること。			<input type="checkbox"/>
6.3	パフォーマンス			
6.3.1	アプリケーションの応答性を確保すること。処理により応答性が低下する場合は、並列処理等を行い応答性を確保すること。			<input type="checkbox"/>
6.4	音声認識(単語・タイムアウト・聞き返し)			
6.4.1	音声認識の単語は、必要なワードリストを作成し登録をすること。			<input type="checkbox"/>
6.4.2	音声認識のタイムアウト(ユーザーの発話から音声認識まで)は適切に設定すること。	音声認識タイミング		<input type="checkbox"/>
6.4.3	音声認識失敗時は聞き返しの動作を実施するなど適切に設定すること			<input type="checkbox"/>
6.4.4	タッチtoトーク(画面にタッチしながら話す)を実装する際は、適切なウェイトを設定すること。		ウェイト:処理のタイミングを合わせるために必要となる待ち時間	<input type="checkbox"/>
6.5	エラー表示			
6.5.1	エラー表示は原因特定のために適切に組み込むこと。	エラーコードリスト	原則として適宜、適切に実施すること	<input type="checkbox"/>
7. ロボットイメージ				
7.1	ロボット呼称			
7.1.1	ロボットの呼称とはロボット自身の呼び名である。適切な呼称とすること			<input type="checkbox"/>
7.2	ブランド保護			
7.2.1	Tapiaのブランドイメージを毀損するコンテンツ(公序良俗に反する行為・政治活動・宗教活動・犯罪行為またはそれらにつながる表現を内包する)を含まないものとする。			<input type="checkbox"/>
7.2.4	台詞・画像・動画・音声の中に如何なる差別的表現も組み込まないものとする。			<input type="checkbox"/>
7.2.5	Tapiaのブランドイメージを損ねると思われる事を組み込まないこと。			<input type="checkbox"/>
8. 耐久性・信頼性				
8.1	耐久性			
8.1.1	アプリケーションを連続稼働させて利用する場合は、耐久性テストを適宜実施すること			<input type="checkbox"/>
8.1.2	アプリケーションを連続稼働させて利用する場合は、適宜モーター過負荷テストを実施すること。			<input type="checkbox"/>

	項目	申請事項	備考	確認
8.1.3	アプリケーションを連続稼働させて利用する場合は、適宜バッテリー消費テストを実施すること。			<input type="checkbox"/>
8.1.4	アプリケーションを連続稼働させて利用する場合は、適宜動作に不具合がないことを確認すること			<input type="checkbox"/>
8.2	テスト			
8.2.1	アプリケーションの動作検証テストは、適宜実施すること	検証手順		<input type="checkbox"/>
<b>9. その他禁止事項</b>				
9.1	アプリ内広告			
9.1.1	アプリケーション内部でのコンテンツと無関係な広告表示は行わないこと。	掲載予定広告コンテンツ、 広告表示タイミング、パ ターン、出現条件		<input type="checkbox"/>
9.1.2	Google AdMob および AdSense ポリシーに反しないこと。			<input type="checkbox"/>
9.2	ユーザが意図しない追跡情報の収集			
9.2.1	顧客プロファイリングのためのユーザ追跡情報の収集は行わないものとする。			<input type="checkbox"/>
9.3	その他			
9.3.1	アプリケーションを通して法令または公序良俗に反する行為、またはその恐れのある行為は行わないこと。			<input type="checkbox"/>
9.3.2	「Tapia SDK 利用上の注意」に従うこと			<input type="checkbox"/>